



ハグパイスター



FROM ユアブレーション 尾上会計事務所

P1

所長
コラム

「シークワサー」で食の味覚に脚光！

読者の皆様は、沖縄特産の酸っぱい柑橘類「シークワサー」をご存知のことと存じます。不肖私も 30 年位前に沖縄へゴルフ旅行をした際、この柑橘類に出会ってからシークワサーの虜になってしまいました。それまでは、最初はレモン、橙、徳島の酢橘（すだち）、柚子、九州の「かぼす」へと単純な酸っぱさのものから酸味の深いコクのある柑橘類へ移っていき、「かぼす」で飲み物に足す柑橘類でもうこれ以上のものはない・・・と思っていたところ、シークワサーに辿り着き、その後今日まで続いているという次第であります。

沖縄産の 100%シークワサーは値段も安価でなく、720 ccで2,600 円（税別）という値段ですが、これを添加した2杯（3杯）酢が刺身類から漬物類まで万来の用途で重宝し、また年中愛用の焼酎（芋湯割り）への添加によって結構消費ペースは早いのです。

沖縄特産販売㈱のシークワサー全紙広告によると

「世界一の長寿村“大宜味村”の健康の秘訣もシークワサー！！」

「レモンの2.2倍ものクエン酸で身体に喝を入れる！！」



また、「ビタミンAが豊富で悪酔いしない」「おいしく飲めるのは皮ごと搾りだから！！」とも書かれていて、通常なら酸っぱ過ぎると思われるが、そうではなく丸しぼりのせいであろうか、独特のまるやかさが酸味とうまく調和しているからなのか、丁度良い風味を醸し出しているのではないかと考えています。

不肖我が家においては、先述の2杯（3杯）酢は自家製で独特の調合を行っており、親戚中からいつも待ち焦がれているものがあります。それは市販の昆布ポン酢に同量の濃口醤油と酢を足し込み、その上に10%のシークワサーをミックスしたただけののですが、各家庭のポン酢を使った鍋物や掛け出汁として重宝がられているというものになっております。

我流とは思いますが、一度さしあげるとあれおいしかった・・・と指名がかかって、大げさながら何ヶ月に1回かは10本ずつの調合をする有様です。本当はお世辞かな？

加量するシークワサーは微量で充分役割を果たしてくれるのですが、内緒でもっと種々な食品や調味料に加味して、ちょっとした得も言われぬ味覚（他所にない）を覚えるようになりそうな気がしているのは、独りよがりかも知れません。

「シークワサー」に脚光あれ！！



P2



情報

TKCのFinTechサービスが始まりました！

2016年6月より、TKCシステムで『FinTech』サービスの提供が開始されました。『FinTech』とは『金融（Finance）』と『技術（Technology）』を掛け合わせた造語で、ITを活用し革新的な金融サービスのことをいいます。

具体的には、複数の金融機関や信販会社からインターネットを利用して取引明細を自動で取得します。その取引明細をもとに仕訳の学習機能を利用して仕訳を計上できるようになります。

TKCの『FinTech』サービスは97%の銀行（法人口座）に対応しており、今後も対応金融機関を順次拡大していく予定となっています。

TKCの『FinTech』サービスの6つの特長

1 銀行信販データの自動受信機能

メニュー ボタンをワンクリックするだけで、複数の口座から最新の取引明細を自動で取得できます。ATMや銀行窓口と並ぶ手間と時間を削減できます。

2 仕訳の二重計上防止機能

銀行口座への預入、銀行口座からの引出、銀行口座間の振替取引を自動でチェックして二重計上を防止します。

3 消費税の記帳要件を完全遵守

消費税法第30条「仕入税額控除」の記帳要件を完全遵守しています。専用の入力欄と入力漏れを自動でチェックする機能で、適法な帳簿の作成を支援します。

4 仕訳ルールの学習機能

仕訳計上時に補正した内容がシステムに学習されます。次回以降同種の取引データを読み込んだ際には、学習した仕訳を提示して入力をサポートします。

5 仕訳元の銀行信販データの確認機能

仕訳のもととなる取引データをすべて保存しています。仕訳からその根拠となる取引データをいつでも確認できます。

6 銀行残高と帳簿残高の検証機能

銀行口座の実際の残高と、受信した取引データを全て仕訳計上した場合の帳簿残高が一致することを一目で確認できます。

- TKCの『FinTech』サービスは、FX4クラウド、FX2、FX2個人事業用、e21まいスター、e21まいスター個人事業用に搭載します。
- インターネットバンキングの契約（銀行の場合）やWeb明細照会サービスの登録（クレジットカードの場合）が必要です。
- 当サービスは、マネーツリー社とTKCが共同開発したサービスです。マネーツリー社の利用規約への同意が必要です。

※新たにハクシオンレターの配信先をご紹介頂ける場合には、お手数ですが□に✓を入れご返信ください。

□ 下記へ配信してください。
会社名 _____

ユアブレーション 尾上会計事務所 宛
TEL _____

FAX 079-288-0997
FAX _____

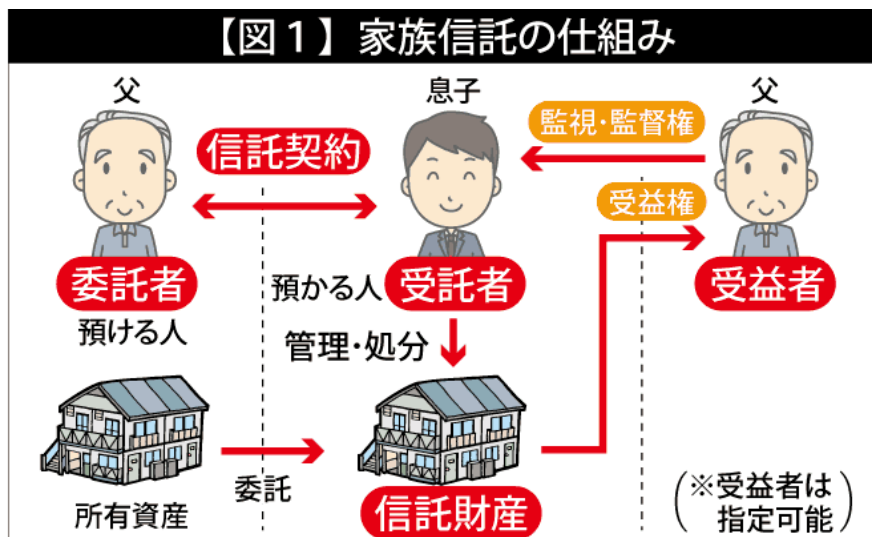


家族信託をご存知ですか？

財産を次の世代に残すため代表的なものとして遺言がありますが、遺言とは違う財産の承継方法として家族信託というものがあります。

まず、信託とは、委託者が信託行為（例えば、信託契約、遺言）によってその信頼できる人（受託者）に対して、金銭や土地などの財産を移転し、受託者は委託者が設定した信託目的に従って受益者のためにその財産の管理・処分などをする制度です。

信託に属する財産の所有権は受託者になってしまいますが、その財産から生じる運用益は受益者が取得します。



家族信託とは特定の目的（例えば「自分の老後の生活・介護等に必要な資金の管理及び給付」等）に従って、その保有する不動産・預貯金等の資産を信頼できる家族に託し、その管理・処分を任せる仕組みです。いわば、「家族の家族による家族のための信託（財産管理）」と言えます。

信託契約により、財産を誰に移したいかということを契約により明確することが出来るというメリットがあり、遺言では決めることが出来ない「遺言により財産を取得した者の次の取得者」を受益者として契約により決定することが出来ます。

その反面、信託契約を行うに当たり印紙税、登録免許税及び司法書士への登記手数料等の費用が必要になります。

（ 信託契約により不動産を信託した場合、受託者に所有権は移転しますが、受託者について不動産取得税は課税されません。 ）

（記事担当：松浦）

※今後ハクシオンレターの配信をご希望されない方は、お手数ですが□に✓を入れご返信ください。

今後希望しない
会社名

ユアブレーション 尾上会計事務所 宛
TEL

FAX 079-288-0997
FAX